注　意

1

２８．１１．３１８００ｃ
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７５４号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
(1)　情　勢
(2)　本日の活動成果
(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
(1) 本日の成果
　　活動概要
(2) 明日の活動
　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
(1)　気　象
(2)　暫定政府樹立までの主要結節
(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　日本隊に及ぼす影響
(4)　部隊配置状況
(5)　タスク現況
(6)　警備の態勢

１　本文（要約）

凡例　赤字：変化事項

１　情　勢

(1)　全　域

ア　衝突解決合意関連

衝突解決合意は、キール大統領が９月３０日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示しているものの、政府内高官による相反する発言が確認されていることから、１１月中に予定されてる安保理協議特に、制裁に関する協議の動向には注視が必要

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第１副大統領派がキール政権に対する抵抗及びジュバ帰還への意思を示したことから、反主流派指導部の分裂、政府軍に統合されていた反主流派の一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部のリーア及び南部において政府軍と反主流派（マシャル派）との緊張状態が継続し、予断を許さない状況が継続

イ　その他の情報資料

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対国連感情の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での他部族への悪感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、新たなキール政権への抵抗を示す武装集団の台頭や暫定政府高官の離反が始まる等その動向には注視が必要

加えて、南アフリカ政府も和平合意への関与を示していることから、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）

(2)　ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イェイ及びカジョケジでの政府軍と反主流派（マシャル派）との緊張状態及びエクアトリア一帯での武装集団による襲撃事案は継続するとともに、ディンカ族と他部族との緊張状態も生起し、[redacted]との情報もある。また、郊外へ至る経路上では通行許可証等を要求するＳＯＦＡ違反が継続しているが、ＦＰを含めたＵＮＭＩＳＳのパトロールによるプレゼンスの提示及びジュバ－ニムレ道沿いのウガンダ警察と、南スーダン警察との協力態勢の確立による治安の回復が期待されるものの、その状況に注視

凡例　赤字：変化事項

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間に治安機関が強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きＳＯＦＡ違反の発生状況に注視

[redacted]では、常続的に射撃が確認されており、[redacted]逐次進展が見られるものの、ディンカ族とエクアトリアンの[redacted]不安定な状態にあり引き続き些細な変化に注意が必要

また、ＩＤＰとＵＮＰＯＬ等との小競合いにおいて[redacted]ことから、ＩＤＰ内での対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要

加えて、キール大統領の死亡説やマロン参謀総長の解任説が流れる等、市民の不安が煽られるような噂が流れたこともあり、市民感情の変化には注意が必要（流布源は不明であるが、一時的に市内の一部が緊張状態になったことから、今後の政府の動向に注意）

(4)　ウガンダ

２０１６年２月の大統領選及び５月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、７月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及び政府軍による検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動する政府軍兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

マラム採掘場周辺においては、ＵＮＭＩＳＳ部隊や地元民が通常通りの活動を実施しているものの、地元民から治安事象が確認されており、流れ弾には注意が必要

３　本日の活動成果

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮハウス地区及びＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びＵＮトンピン内退避壕構築、ＬＶ２クリニックプレハブ構築、ＭＯＶＣＯＮゲート整地を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内（成果：１０ｔ）及びＵＮハウス地区内（成果：５ｔ）における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

(ｲ)　ＵＮハウス地区弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における弾薬庫増設

(ｳ)　Ｌｖ２クリニックプレハブ構築

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区内Ｌｖ２クリニックにおけるプレハブ構築

(ｴ)　ＭＯＶＣＯＮゲート整地

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区ＭＯＶＣＯＮにおけるゲートの整地

(ｵ)　ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

(ｶ)　マラム運搬

施設器材小隊等をもって、ジュバ市外におけるマラム運搬

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　隊本部をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察

ｂ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区内及びジュバ市内における情報収集活動

(ｲ)　業務調整

隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区、ＵＮハウス地区における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊長による、ＵＮハウス地区における[redacted]への参加

(ｷ)　警務班をもって、ジュバ市内における重車両輸送支援

(ｸ)　隊本部等による、ジュバ市内における市内研修

(ｹ)　隊本部をもって、ジュバ市内における現地調達業務

(ｺ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内における業者対応

(ｻ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内におけるカンボジアLv.2病院への歯科受診送迎

(ｼ)　隊本部をもって、ＵＮハウス地区内におけるＯＲＩ（作戦即動点検）受検

(ｽ)　隊本部等をもって、ジュバ空港における国連休暇取得者の送迎

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事等

な　し

カ　国際機関等連携案件

な　し

3　明日の活動予定

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びＵＮトンピン内退避壕構築、ＬＶ２クリニックプレハブ構築、ＭＯＶＣＯＮゲート整地を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

(ｲ)　ＵＮハウス地区弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における弾薬庫増設

(ｳ)　Ｌｖ２クリニックプレハブ構築

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区内Ｌｖ２クリニックにおけるプレハブ構築

(ｴ)　ＭＯＶＣＯＮゲート整地

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区ＭＯＶＣＯＮにおけるゲートの整地

(ｵ)　ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

(ｶ)　マラム運搬

施設器材小隊等をもって、ジュバ市外におけるマラム運搬

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　隊本部をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察

ｂ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区内及びジュバ市内における情報収集活動

(ｲ)　業務調整

ａ　隊本部をもって、宿営地における日本大使館書記官及び連絡調整要員との連絡調整会議の実施

ｂ　隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区内、Ｎハウス地区内及びジュバ市内における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

ａ　本部付隊をもって、宿営地管理業務

ｂ　隊本部をもって、宿営地における韓国国防省厚生担当者による研修対応

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　副隊長による、ＵＮハウス地区における現場指導

(ｷ)　警務班をもって、ジュバ市内における重車両輸送支援

(ｸ)　隊本部をもって、ジュバ市内における現地調達業務

(ｹ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内における業者対応

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事等

な　し

カ　国際機関等連携案件

な　し

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

別紙第１－１

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区内退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	１５	小型×１、大型×２ 油圧×１、ＲＯＶ×１ ロードローラー×１ 特大型×１	
②		ＬＶ２クリニックプレハブ構築	１小隊	０８００～１６００	カンボジア病院	２１	大型×２、高機×１ 中型×１	
③		ＭＯＶＣＯＮゲート整地	１小隊	０８００～１６００	ＭＯＶＣＯＮ	４	大型×１、油圧×１	
④	その他	給　水	補給班	０８００～１０００	トランジット ネパール歩兵中隊	２	給水車×１	
⑤	その他	給　水	補給班	１０００～１２００	インド歩兵大隊	２	給水車×１	
⑥		業務調整（渉外）	隊本部（Ｓ－１）	１３３０～１６００	ＴＣＣオフィス地域	２	小型×１	
⑦		業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	工兵課	５	小型×１	
⑧		業者対応（施設器材）	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６００	ウエストゲート	２	小型×１	
⑨		業務調整（輸送）	隊本部（Ｓ－４）	０９００～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	３	小型×１	
⑩		業務調整（通信）	隊本部（Ｓ－３）通信班	１０００～１２００	ＣＩＴＳ	３	中型×１	
⑪		歯科受診	衛生班	１０００～１２００	カンボジア病院	３	Ａｍｂ×１	
⑫		広報活動	広報班	０７４０～１６００	ＵＮトンピン	２	小型×１	
⑬	情報	情報収集	情報班		トンピン内			

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－２

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）



12	広報活動
13	情報収集

別紙第１－３

活動概要（ＵＮハウス）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊 整備班	０７４５～ １６３０	ＵＮハウス西側	２５	高機×３、大型×３	
②		ＵＮハウス地区弾薬庫増設	３小隊	０７４６～ １６３０	弾薬庫	２１	高機×２、大型×２ 特大型×１	
③	その他	[redacted]	隊本部 （Ｓ－１） （Ｓ－３）	０７４４～ １２００	ＦＨＱ	４	ランクル×１	
④		ＯＲＩ点検受検	隊本部 （Ｓ－４）	０７４４～ １６３０	ＵＮハウス	５	高機×１	
⑤		業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０７４７～ １６３０	ＵＮハウス	５	高機×１	
⑥		広報活動	広報班	０７４７～ １６３０	ＵＮハウス	２	高機×１	
⑦		給　水	補給班	０７４７～ １４００	ネパールＦＰＵ	２	給水車×１	

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－４

活動概要（ＵＮハウス）（４／７）



別紙第１－５

活動概要（ジュバ市内）（５／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施　設	マラム運搬	器材小隊 警備小隊 情報班 衛生班 整備班 隊本部 （教訓）	０９００～ １６００	ルリ橋北側	１４	特大型×３、高機×２	
②	情　報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２）		市内全域			
③		情報収集	情報班		ジュバ市内			
④	その他	市内研修	隊本部 （Ｓ－１）	１２１０～ １５４０	ジュバ市内	１０	ランクル×２	
⑤		現地調達（補給）	隊本部 （Ｓ－４）	１３３０～ １６３０	取水点	３	高機×１	
⑥		重車両輸送支援	警務班	０７２０～ １６００	ジュバ市内	２	高機×１	
⑦		国連休暇者送迎 （１０Ｇｐ）	隊本部 （Ｓ－１） 付隊本部 器材小隊	０７４０～ １２００	ジュバ空港	４０	大型×２、小型×１	

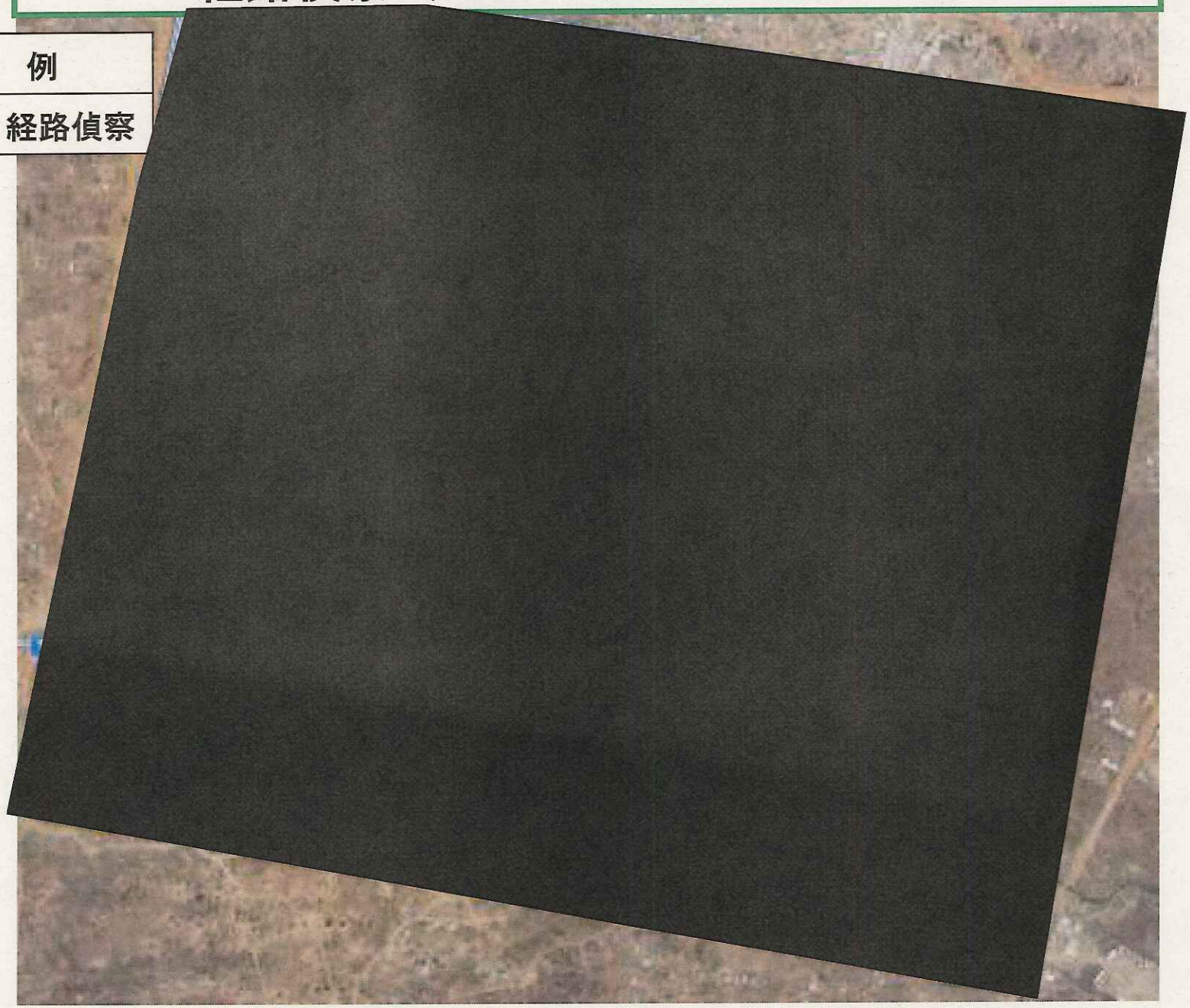
別紙第１－６

活動概要（ジュバ市内）（６／７）



経路偵察（ＵＮハウス）（７／７）

凡　例	
――	経路偵察



本日の活動成果

トンピン地区排水整備

活　動　中
施設器材小隊【11.3 0900現在】



活　動　中
施設器材小隊【11.3 1400現在】



活　動　成　果	
進度 累計 [redacted]	・退避壕構築位置マラム敷設（２９㎥） ・資材受領 【バングラ隊のダンプ２台（８㎥）含む】

別紙第２－２

本日の活動成果

Ｌｖ２クリニックプレハブ構築

活　動　前

第１施設小隊【11.3 0830現在】



活　動　中

第１施設小隊【11.3 1200現在】



活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	１　柱　梁 ２　骨組み

別紙第２－３

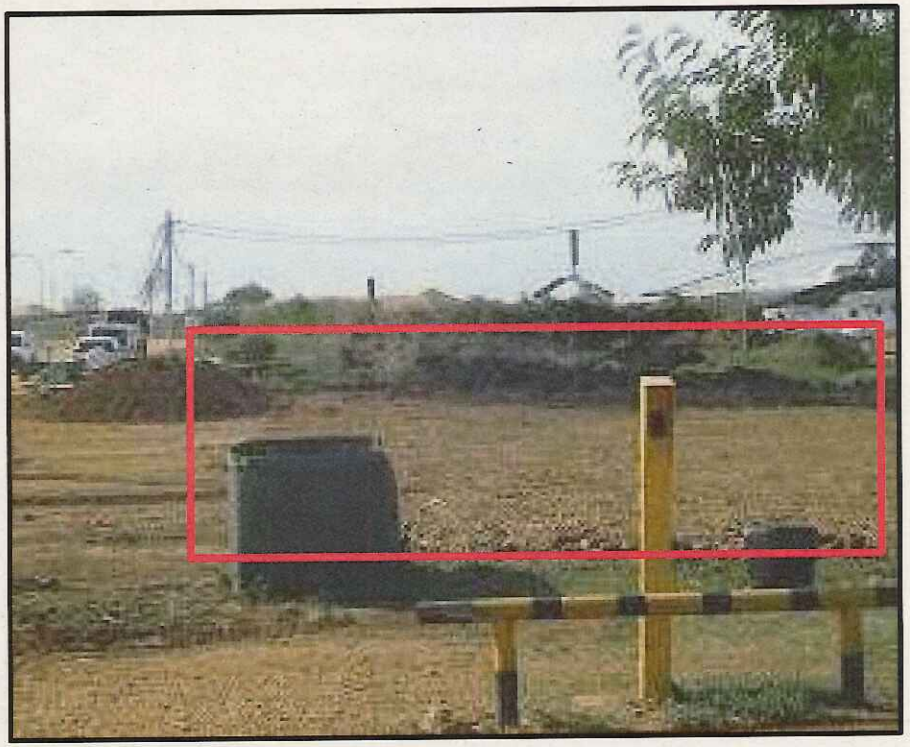
本日の活動成果

ＭＯＶＣＯＮゲート整地

活　動　前
○施設小隊【11.3 0830現在】



活　動　後
○施設小隊【11.3 1400現在】

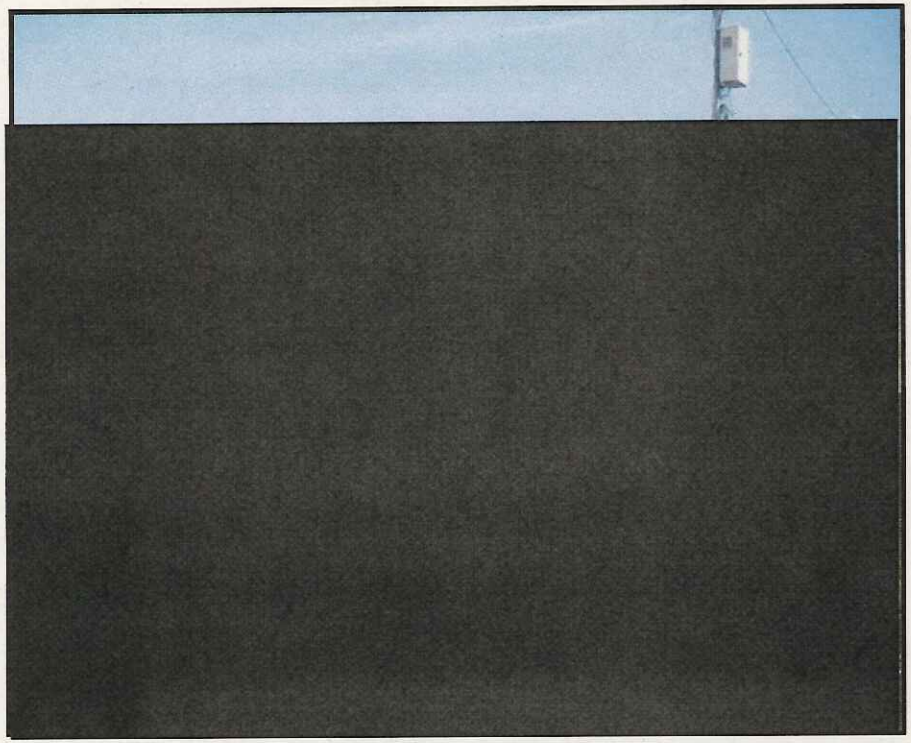


活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	1　捨　土 2　整　地

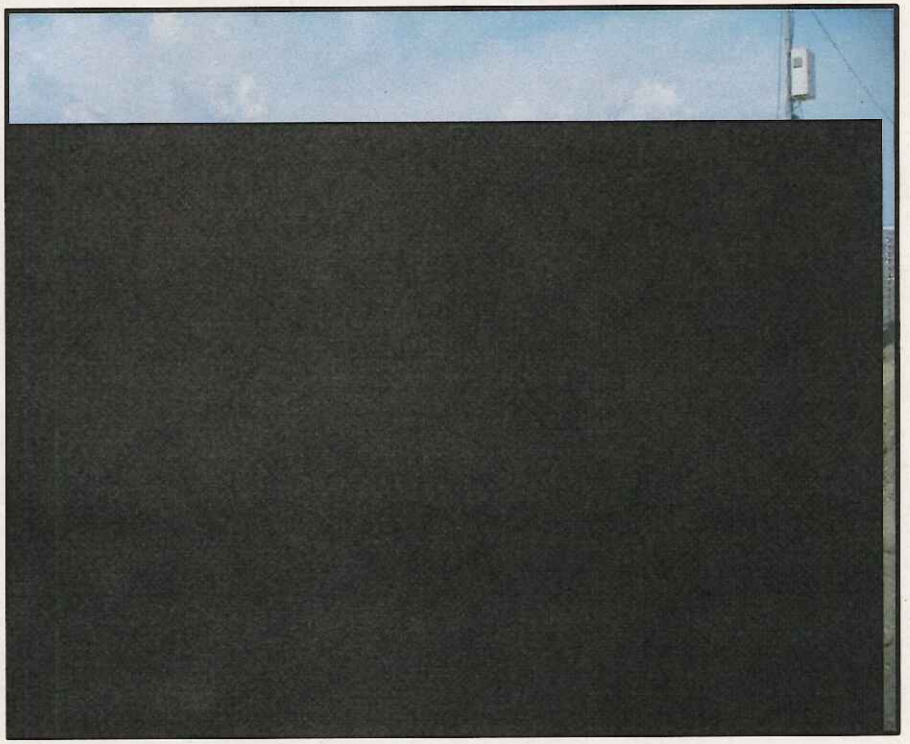
本日の活動成果

ＵＮハウス地区西側外壁構築

活　動　前
第２施設小隊【11.3　0900現在】



活　動　後
第２施設小隊【11.3　1400現在】



活　動　成　果	
進度 累計	[redacted]	・整地作業 ・ミフラム組立設置及び土入れ ・測量経始

本日の活動成果

ＵＮハウス地区弾薬庫増設

活　動　前
第３施設小隊【11.3 0900現在】



活　動　後
第３施設小隊【11.3 1400現在】



活　動　成　果	
進度 累計 [redacted]	・ヘスコ設置 ・土入れ

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
別紙第３「情　勢」
別紙第４「装備品等現況」
別紙第５「患者受診状況」
別紙第６「人員現況」
別紙第７「総括（評価）」

(2)　活動命令
別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
別紙第９「視察・来隊予定」
別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

情　勢（1／8）／Situation

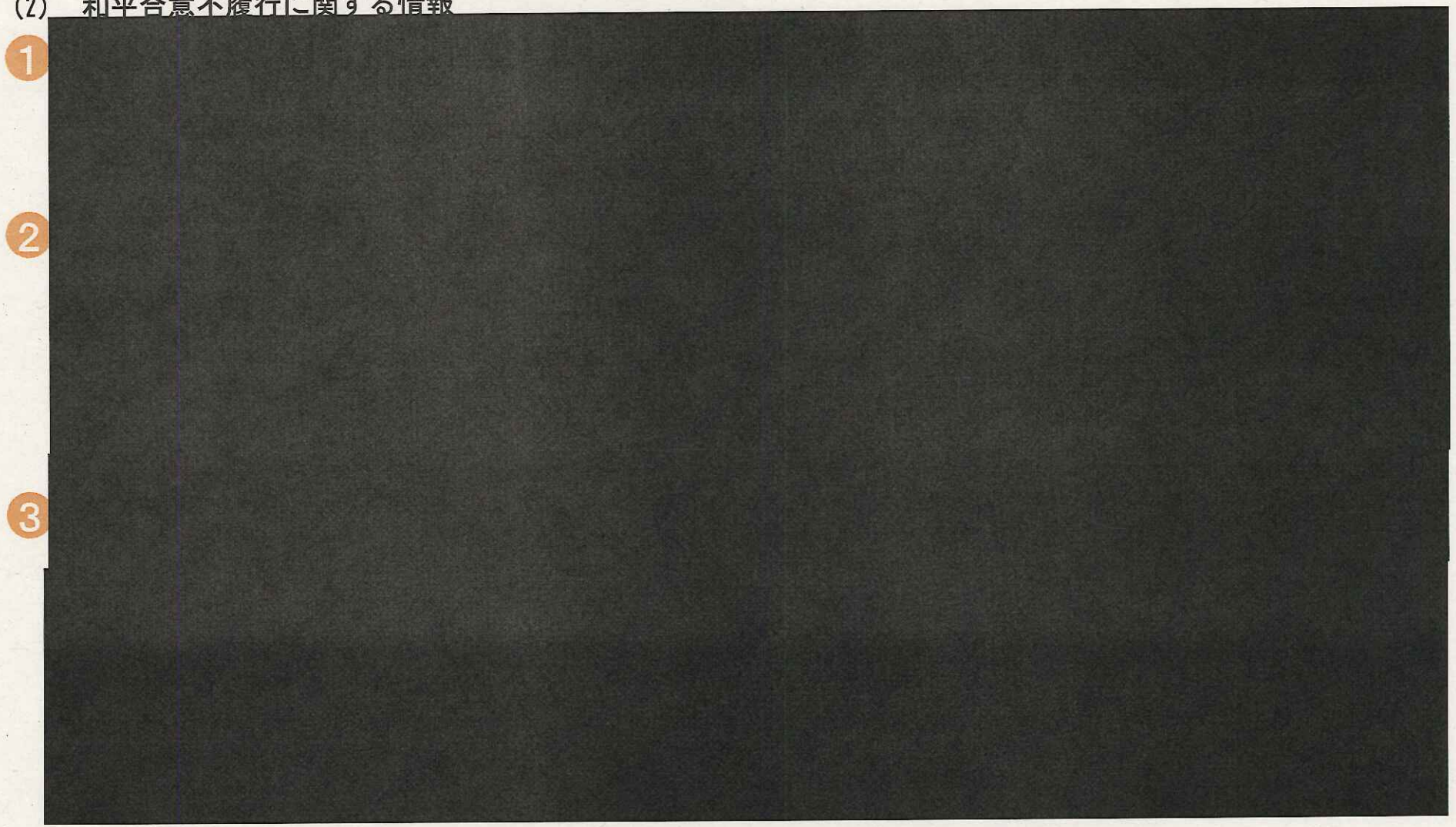
凡例　青字：新規
赤字：評価

1　南スーダン全域の情勢

(1)　和平合意履行に関する情報

新規追加事象なし

(2)　和平合意不履行に関する情報



情　勢（２／８）／Situation

凡例　青字：新規
赤字：評価

(3)　その他入手した主要な情報資料

■　２日、キール大統領の命により、特別調査が実施されていたテレインホテルの事案に関して、調査報告がなされ、１７名が告訴され、裁判所で訴追される模様
（３日 RadioTamazuj”Special investigation finds SPLA soldiers guilty of rampage”）

→　国際社会からの避難を回避するため、比較的速やかに調査報告がなされたものと思料。しかしながら、５０～１００名の兵士が関与したと言われており、国際的な批判は継続するものと思料

4 [redacted]

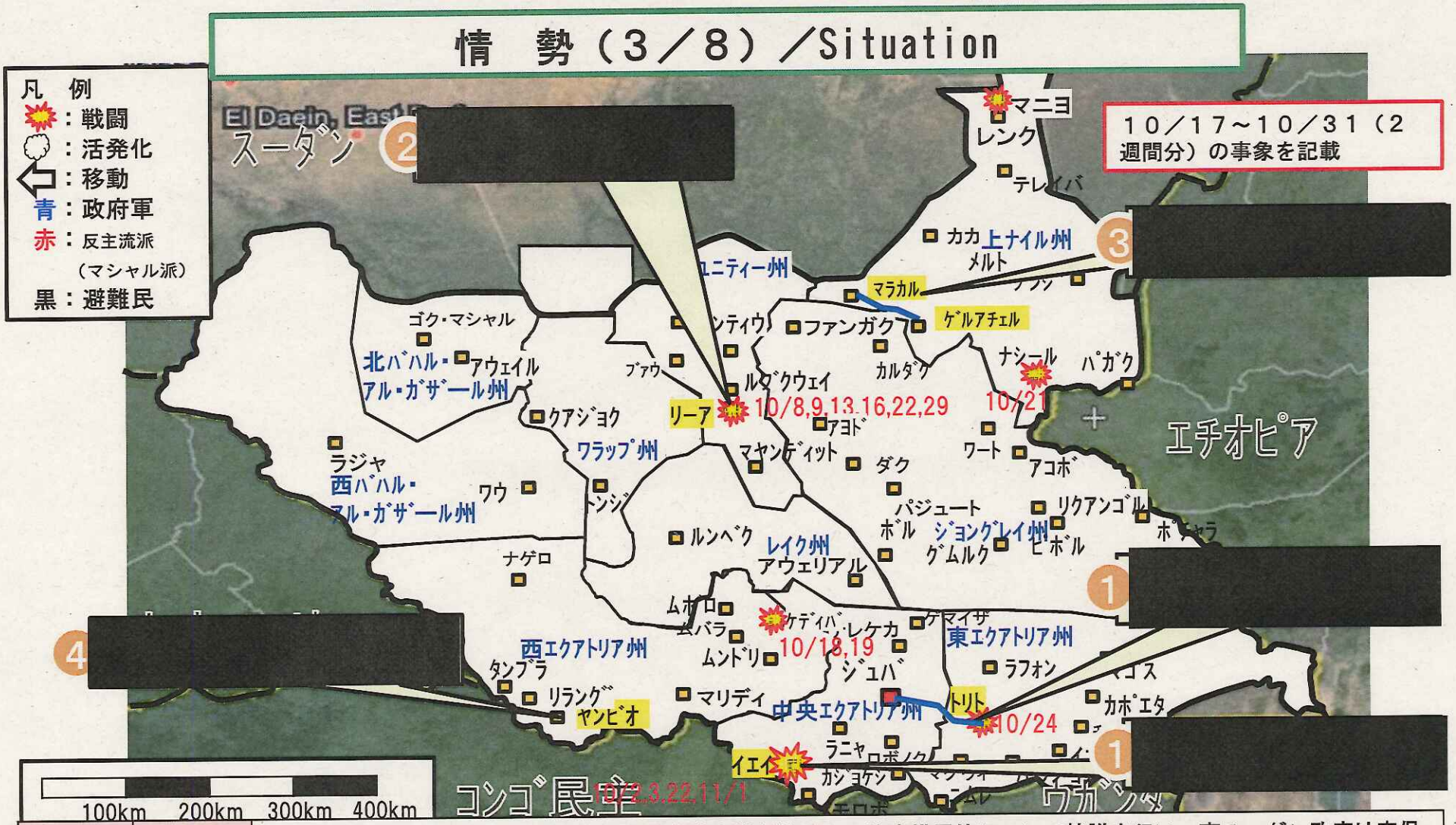
→　引き続き、動向に注視

5 [redacted]

■　２日、ケニア外務省はＵＮＭＩＳＳ軍司令官更迭に反発して、ケニア軍部隊撤退を表明した模様
（２日 Reuters、SudanTribune、共同通信）

→　引き続き、動向に注視

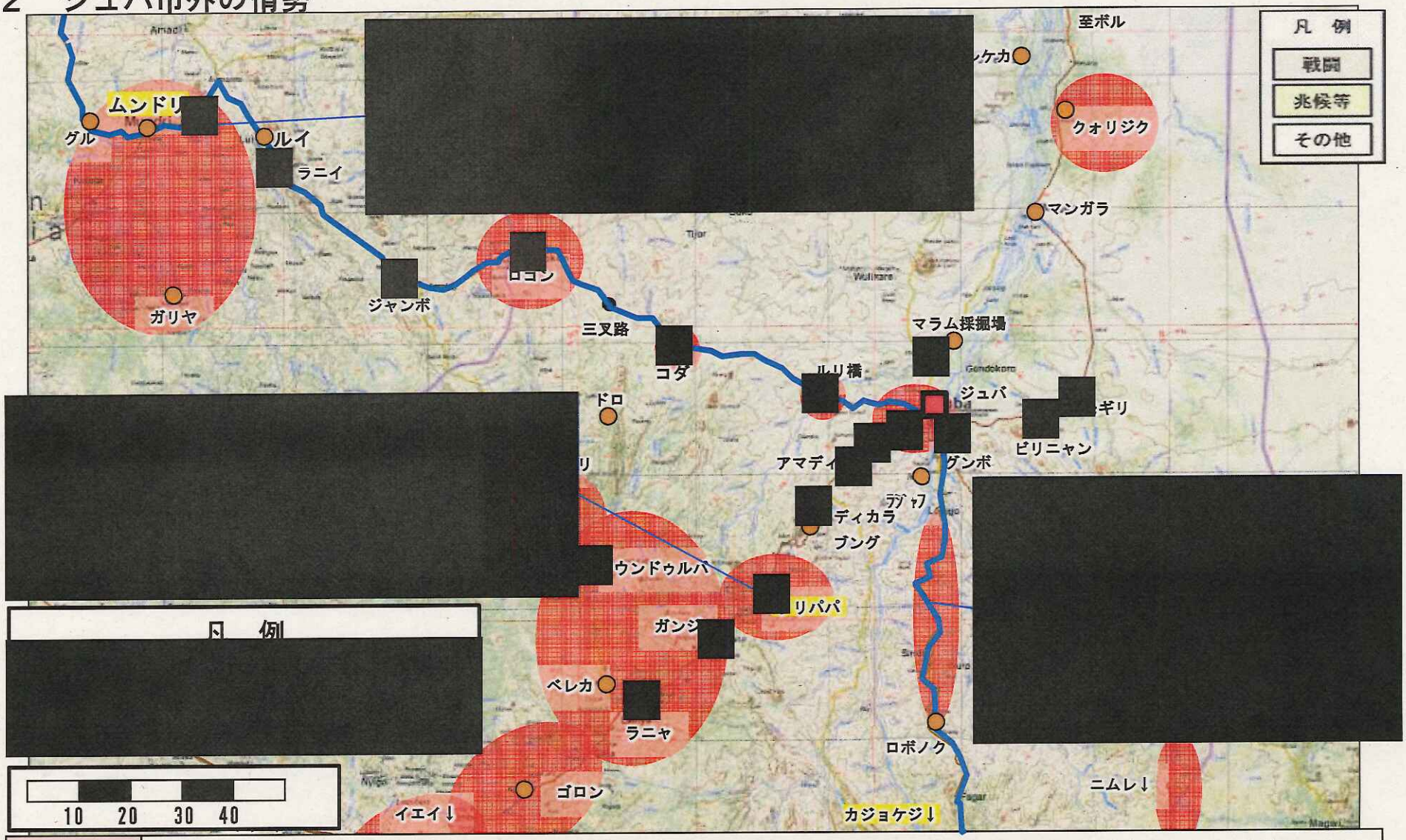
情　勢（3／8）／Situation



評　価	和平合意	和平合意については、ＪＭＥＣによる全体会議が終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、ＪＶＭＭも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示している事から、今後も逐次、協議が開催されるものと思料 北部及び南部において、政府軍と反主流派（マシャル派）との小規模な戦闘が継続しており、マシャル前第１副大統領のキール政権打倒のための武力抵抗の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による１０月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要

情　勢（4／8）／Situation

2　ジュバ市外の情勢



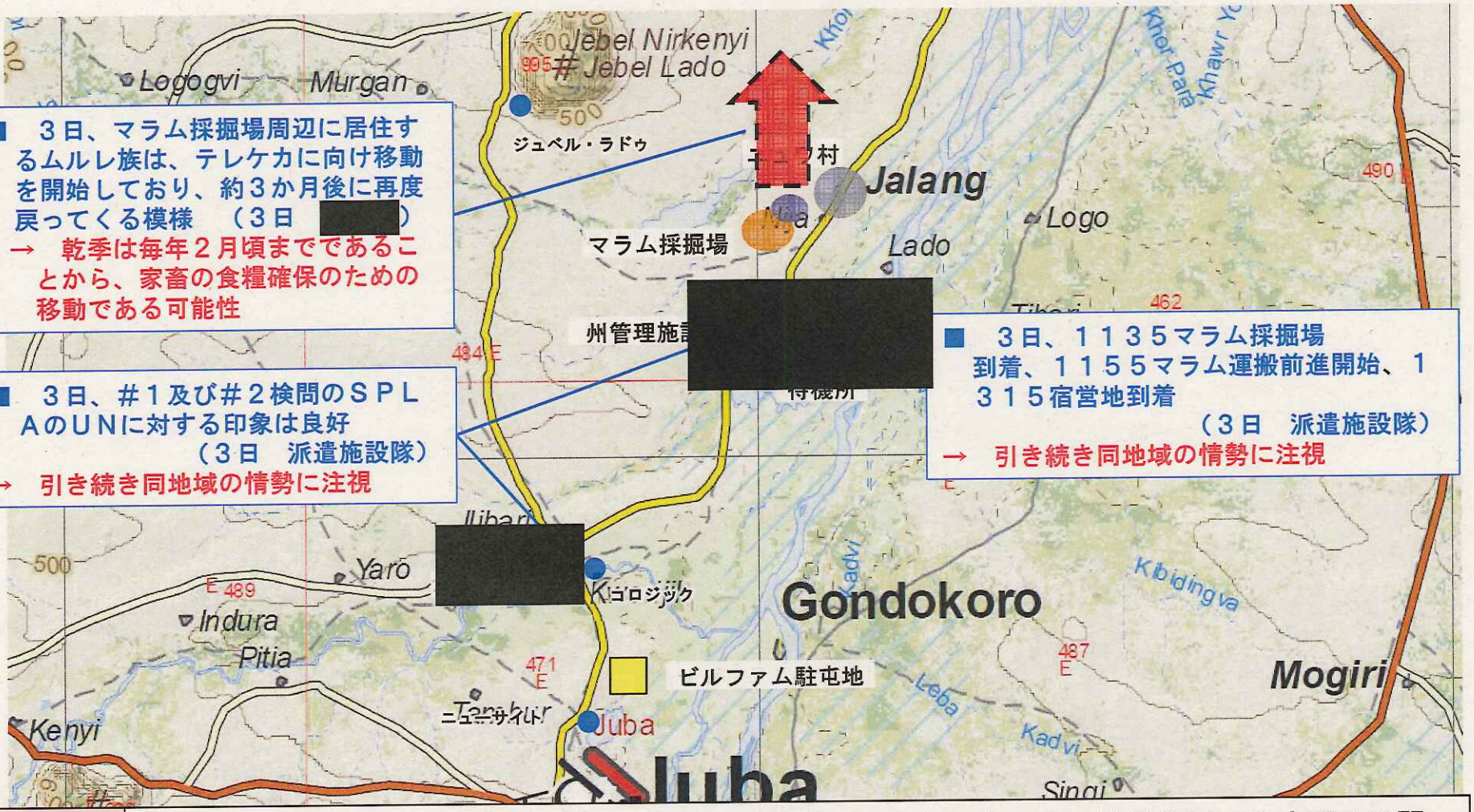
評　価	郊外における状況は未だ不透明であり、道路沿いで政府軍に対する反主流派（マシャル派）による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情　勢（５／８）／Situation

■　３日、マラム採掘場周辺に居住するムルレ族は、テレケカに向け移動を開始しており、約３か月後に再度戻ってくる模様　（３日 [redacted] ）
→　乾季は毎年２月頃までであることから、家畜の食糧確保のための移動である可能性

■　３日、＃１及び＃２検問のＳＰＬＡのＵＮに対する印象は良好
（３日　派遣施設隊）
→　引き続き同地域の情勢に注視

■　３日、１１３５マラム採掘場到着、１１５５マラム運搬前進開始、１３１５宿営地到着
（３日　派遣施設隊）
→　引き続き同地域の情勢に注視



評　価	反主流派が同地域に所在するという事実は確認されていないものの、地域住民と政府軍との間の感情は悪くなっているものと思料され、以前よりも地域住民、特にムンダリ族（銃を携行する牛飼い）と政府軍との間で銃撃を含む衝突（政府軍によるムンダリ族への報復）が継続する可能性もあり、移動間の衝突への巻き込まれ及び流れ弾には警戒が必要 また、北上する牛飼い等の所有する家畜への衝突等、交通事故にも併せて注意が必要

情　勢（6／8）／Situation

3　ジュバ市内の状況

■　２日２２２２頃、宿営地西側２Ｋｍ以上において、射撃音４発が確認された模様（３日　派遣施設隊）

→　夜間における流れ弾、巻き込まれに注意

[redacted]

→　引き続き、動向に注視

[redacted]



評　価	ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イェイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化にも注視が必要

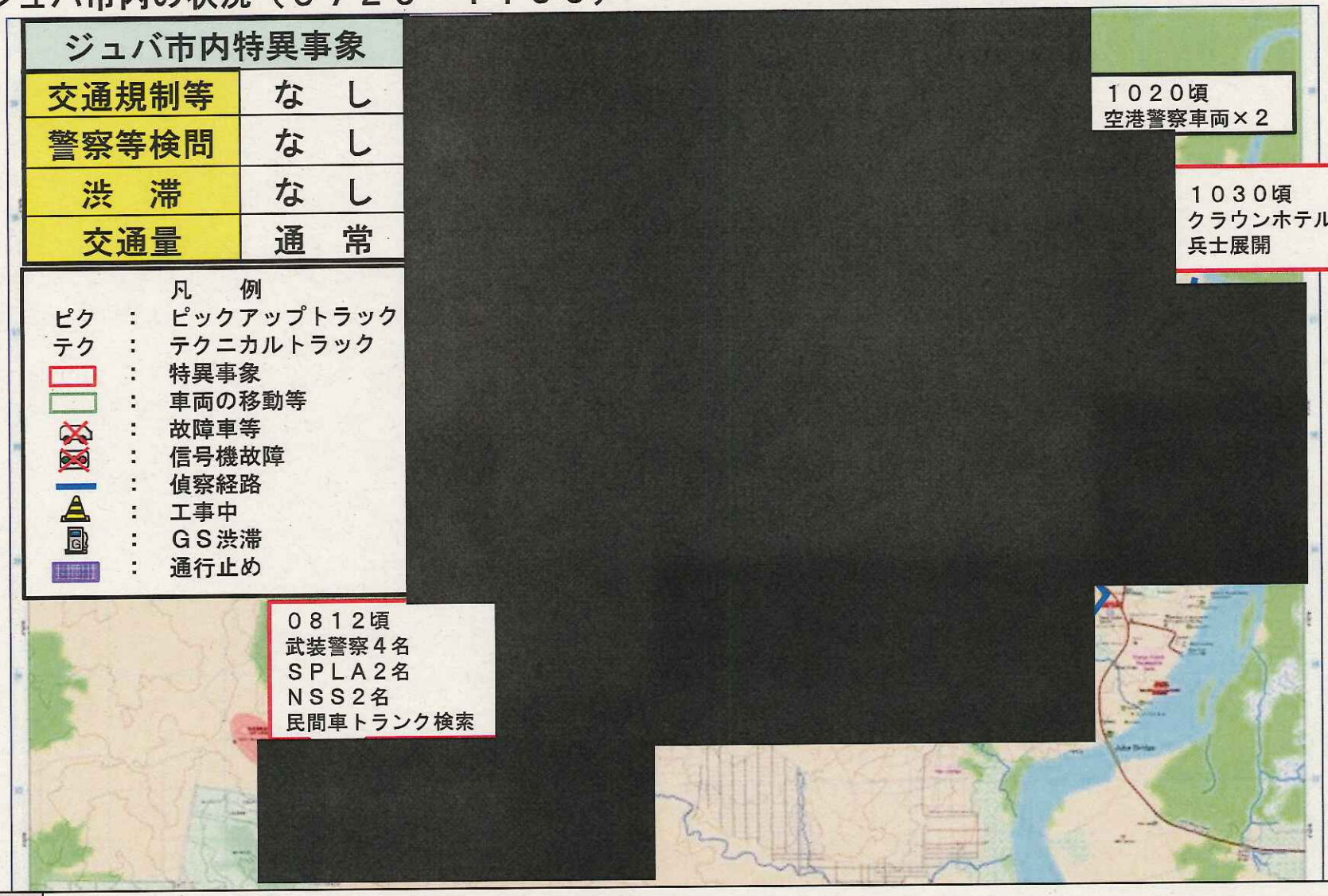
情　勢（7／8）／Situation

5　ジュバ市内の状況（０７２０～１１００）

ジュバ市内特異事象	
交通規制等	な　し
警察等検問	な　し
渋　滞	な　し
交通量	通　常

凡　例

ピク　：　ピックアップトラック
テク　：　テクニカルトラック
：　特異事象
：　車両の移動等
：　故障車等
：　信号機故障
：　偵察経路
：　工事中
：　ＧＳ渋滞
：　通行止め



評　価	市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。 クラウンホテル周辺は高官が利用する恐れがあるため、通行時には注意。 交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（８／８）／Situation

４　気　象（０６００ｉ）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	快晴	２５℃	４９℃	２１％	５７％	０mm	
カンパラ	晴れ一時雨	１６℃	２８℃	５０％	９３％	３mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

別紙第４－１
１１月３日１８００c

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％ [redacted]	な　し	
車　両	１００％ [redacted]	な　し	
施　設	１００％ [redacted]	な　し	
通　信	１００％ [redacted]	な　し	
需　品	１００％ [redacted]	な　し	
衛　生	１００％ [redacted]	な　し	
その他		１５０ＫＶＡ発電機×２ （逆浸透浄水装置用） オルタネータ不良	部品請求実施 →[redacted] 整備完了まで予備の２２０ＫＶＡ発電機×１を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－２

１１月３日１８００ｃ

区　分		品　名	総　数	取　得	返　納	保　管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－３

[redacted]

喫食者数：３２３名（総員３５３名、国連休暇３０名）

１１月３日１８００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐久品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	その他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油（発電機）					
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン（調達品）					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

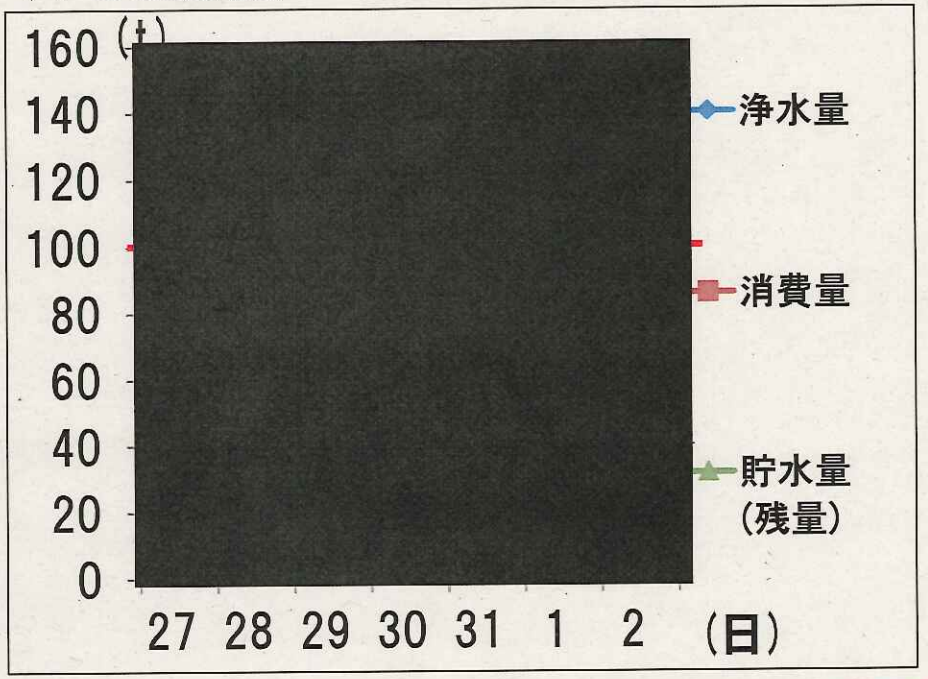
別紙第４－４

１１月３日１８００ｃ

第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

【H28.10】（１０次要員）

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
木	２７	[redacted]		
金	２８			
土	２９			
日	３０			
月	３１			
火	１			
水	２			



他国供給先（前日実績）	供給量
ＵＮハウス	
トランジット	3
ネパールＦＰＵ	2
ネパール歩兵中隊	
エチオピア大隊	5
バングラ河川隊	
インド隊	
合　計	１０

【評　価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。
　再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応

○第5井戸の工事期間：10月20日から11月上旬

→井戸内のパイプ接続及び孔内洗浄終了（10月26日1500c）

※　貯水の危険水位：[redacted]

（注）日々の消費量が[redacted]連続で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。　。

別紙第５

患者受診状況

受診患者計　　８名

１１月　２日１４００ｃ
～１１月　３日１４００ｃ

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備　考
本部付隊	１名	[redacted]	
施設器材小隊	１名		
第１施設小隊	３名		
第２施設小隊	１名		
警備小隊	１名		
情報班	１名		

凡例：　（再）　→　再　診

別紙第６

１１月３日１８００ｃ

人員現況／Personnel Status

	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（ＵＮトンピン）	３５３	３０	３２３	○国連休暇　３０名 （11/3～11/8）	

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	流れ弾	10/4, 6, 9, 10, 11, 16, 17, 20 11/2近傍での射撃（特に夜間）	[redacted]
	ＵＮトンピン	反ＵＮデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置	
	ＵＮハウス	反ＵＮデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		ＩＤＰの流入又は侵入	[redacted]	
		流れ弾	[redacted]	
			10/4 WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）の予行の実施	
	＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	[redacted]	
	＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ	
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	[redacted]	
			9/17　政府軍のPOCサイトへの侵入	
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置	

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
			9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第１副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭 10/19 JMEC全体会議の開催 10/28 ｴﾁｵﾋﾟｱ首相来南ス来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催 11/1-2　外国高官の来訪	
		反ＵＮデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家ﾊﾟﾈﾙ報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	[redacted] 9/22,10/26 ｼﾞｭﾊﾞ市内における射撃（夕方以降） [redacted]	

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は　存在	[redacted]
		ハラスメント	[redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪 [redacted] 10/24 ジュバ－ニムレ道沿いのワガダとの協力態勢の確立 [redacted] 10/26 ジュバ－マンガラ間の治安部隊の配置 11/2 ジュバ－トリト道沿いの襲撃	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は　存在 10/14 コダでの政府軍と反主流派の衝突 [redacted] 10/30 反主流派がムンドリ地区を確保したとの発言	
		ハラスメント	[redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	[redacted]	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ	10/26, 27, 11/1, 2 マラム採掘場の情勢は平穏 10/29, 30 近傍住民との小競合い 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	
		ハラスメント	[redacted] 10/26, 27, 11/1, 2 検問を異状なく通過 [redacted] 11/1-2　外国高官の来訪 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	
		犯罪への巻き込まれ	10/26, 11/2 牛の数が増加 10/27 部族間の感情は良好 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	

活動の分析及び評価

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾		
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰの流入		
	流れ弾		
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ		
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ		
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	
	反ＵＮデモ		
	流れ弾		

活動の分析及び評価

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中の政府軍を狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃、政府軍兵士による反主流派と見做された民間人に対する暴行と報復が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、ムンドリ近郊における治安が不安定化している傾向にあり、ＵＮＭＩＳＳ車両が問題なく通行しているものの、道路沿いの政府軍車両に対する伏撃等への巻き込まれ及び衝突の東側への波及には注意が必要 マラム採掘場に至る経路沿いでは、夜間に犯罪と見られる射撃が確認されているものの、ＵＮＭＩＳＳ車両の通行に対する直接的な脅威は確認されておらず、犯罪への巻き込まれには注意が必要 [redacted]では、常続的かつ単発的な射撃の発生、銃を携行した政府軍兵士及び＃３ＰＯＣサイトでの反主流派（マシャル派）の活動が確認されており、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。加えて、ＩＤＰとのＵＮＰＯＬ等との間で小競合いが発生しており、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要 ジュバ市内においては、昼間は一定の治安の回復が見られるものの、夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪を含む犯罪が確認されており、不安定な状態が継続しており、流れ弾には注意が必要 加えて、大統領級の高官来訪時には市内及び郊外へ至る経路の警備が強化される模様であり、高官来訪時にはＳＯＦＡ違反には注意が必要 また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始めたものの、市民団体が反発を示すとともに、政府報道官が近隣国からの派遣を拒否する姿勢を示しており、対ＵＮ感情の変化には注視が必要 ＵＮトンピン内においては、ＩＤＰの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が必要

総　括

評　価 （総括）	・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は、ＩＤＰ移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 ・　ジュバ市内（マラム運搬除く）の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性があるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察、市内状況、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要である 　マラム運搬については情勢の確認のほか、事前のＭＬＯ等との調整、ＣＰによる治安状況、ハラスメントの兆候の確認が必要である ・　ＵＮハウスにおける活動は、ＵＮハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びＩＤＰによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、ＵＮハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 　また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要	
処置・対策	ＩＤＰとの小競合い	[redacted]
	疾病罹患	
	流れ弾対処	
	ＩＤＰデモ対処	
	ＳＰＬＡ等による ハラスメント	
	戦闘への巻き込まれ	

明日の活動命令
(Operations)

1　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy &　Guidance)

2　視察・来隊予定　　(Schedules of visitors)

3　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

１１月４日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びＵＮトンピン内退避壕構築、ＬＶ２クリニックプレハブ構築、ＭＯＶＣＯＮゲート整地を実施する。

　この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)ア　活動警備レベル（基準）

(ｱ)　ＵＮハウス地区

ａ　ハウス西側地区外柵沿い　　レベル[redacted]

ｂ　ハウス南側地区弾薬庫地域　レベル[redacted]

(ｲ)　ＵＮトンピン地区　　レベル１

(ｳ)　ジュバ市内

ａ　ジュバ空港　レベル[redacted]

ｂ　Ｚｏｎｅ１（ジュバナバリ）　レベル[redacted]

ｃ　Ｚｏｎｅ２（ハイゴンヤ）　レベル[redacted]

ｄ　Ｚｏｎｅ９（ハイムヌキ）　レベル[redacted]

イ　宿営地警備 [redacted]

３(1)　ＥｑＰｔ（施設器材小隊）
マラム運搬及びＵＮトンピン地区内退避壕構築、状況により臨時工兵課タスクの実施
(2)　１ＥＰｔ（第１施設小隊）
ＬＶ２クリニックプレハブ構築及びＭＯＶＣＯＮゲート整地
(3)　２ＥＰｔ（第２施設小隊）
ＵＮハウス地区西側外壁構築
(4)　３ＥＰｔ（第３施設小隊）
ＵＮハウス地区弾薬庫増設
(5)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）
宿営地警備、同行警備及び[redacted]
(6)　ＨＱＵ（本部付隊）
宿営地維持・管理活動、ＵＮトンピン地区内給水活動、同行整備、同行衛生及び[redacted]
[redacted]
(7)　ＭＩＳｅｃ（情報班）
ジュバ市内及びＵＮトンピン地区における情報収集
(8)　ＧｕａｒｄＳｅｃ（警護班）
副隊長警護
(9)　ＭＰＳｅｃ（警務班）
重車両輸送支援及び[redacted]

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／８）

別紙第８－３

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区内退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	１７	小型×１、大型×２ 油圧×１、バケット×１ ロードローラー×１	
②		ＬＶ２クリニックプレハブ構築	１小隊	０８００～１６００	カンボジア病院	２２	大型×２、高機×２	
③		ＭＯＶＣＯＮゲート整地	１小隊	０８００～１６００	ＭＯＶＣＯＮゲート	７	大型×２、グレーダ×１ ロードローラ×１	
④	その他	給　水	補給班	０８００～１０００	トランジット エチオピア歩兵大隊	２	給水車×１	
⑤	その他	給　水	補給班	１０００～１２００	ネパールＦＰＵ	２	給水車×１	
⑥		業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	工兵課	３	小型×１	
⑦		業者対応（施設器材）	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６００	ウエストゲート	２	小型×１	
⑧		業務調整（輸送）	隊本部（Ｓ－４）	０９００～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	３	小型×１	
⑨		広報活動	広報班	０７４０～１６００	ＵＮトンピン	２	小型×１	
⑩		業務調整（通信）	隊本部（Ｓ－３）通信班	１０００～１２００	ＣＩＴＳ	３	中型×１	
⑪	情報	情報収集	情報班		トンピン内			

凡例　ＵＮタスク

別紙第８－４

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／８）



⑨	広報活動
⑪	情報収集

活動概要（UNハウス地区）（3／8）

別紙第8－5

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNハウス地区西側外壁構築	2小隊	0730～1630	UNハウス西側	11	高機×3、大型×1	
②		UNハウス地区弾薬庫増設	3小隊	0731～1630	弾薬庫	21	高機×2、大型×2 特大型×1	
③	その他	副隊長現場指導	隊本部 （S－1） （S－3）	0800～1130	UNハウス及び UNトンピン	4	ランクル×1	
④		業務調整（施設）	隊本部 （S－3）	0800～1630	UNハウス	5	高機×1	
⑤		広報活動	広報班	0800～1630	UNハウス	3	高機×1	

凡例　UNタスク

別紙第８－６

活動概要（ＵＮハウス地区）（４／８）



別紙第８－７

活動概要（ジュバ市内）　（５／８）

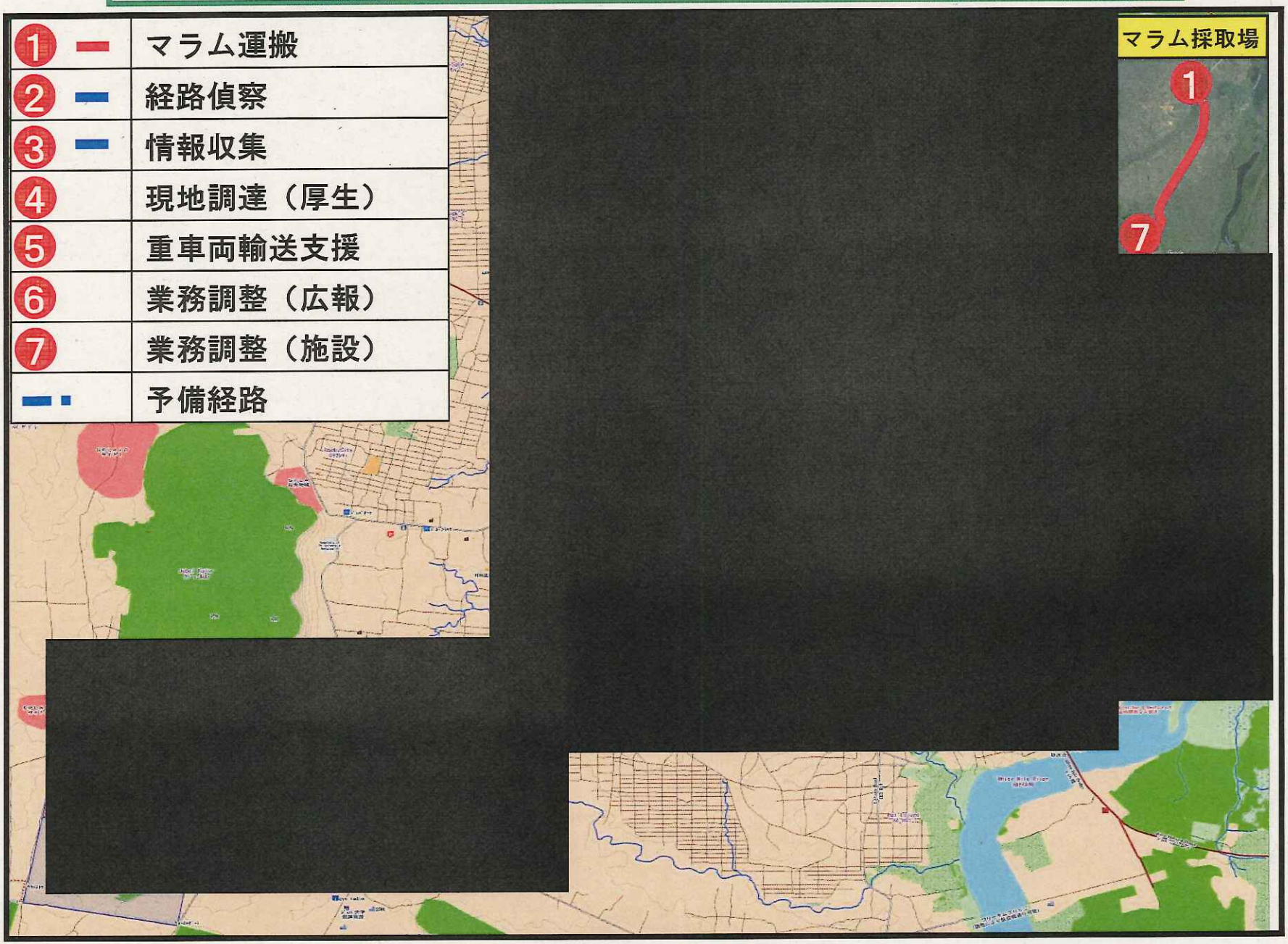
番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施　設	マラム運搬	器材小隊 警備小隊 情報班 衛生班 整備班	０９３０～ １６００	ルリ橋北側	１４	特大型×３、高機×２	
②	情　報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２）		市内全域			
③		情報収集	情報班		ジュバ市内			
④	その他	現地調達（厚生）	隊本部 （Ｓ－１）	１３３０～ １６００	フェニシアバンプ	3	ランクル×１	
⑤		重車両輸送支援	警務班	０７２０～ １６００	ジュバ市内	2	高機×１	
⑥		業務調整（広報）	隊本部 （広　報） （Ｓ－３） （Ｓ－４）	１３００～ １６３０	ユニバーサル	3	高機×１	
⑦		業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０９００～ １２００	ルリ橋北側	3	高機×１ （司令部幕僚）	

凡例　UNタスク

別紙第８－８

活動概要（ジュバ市内）（６／８）

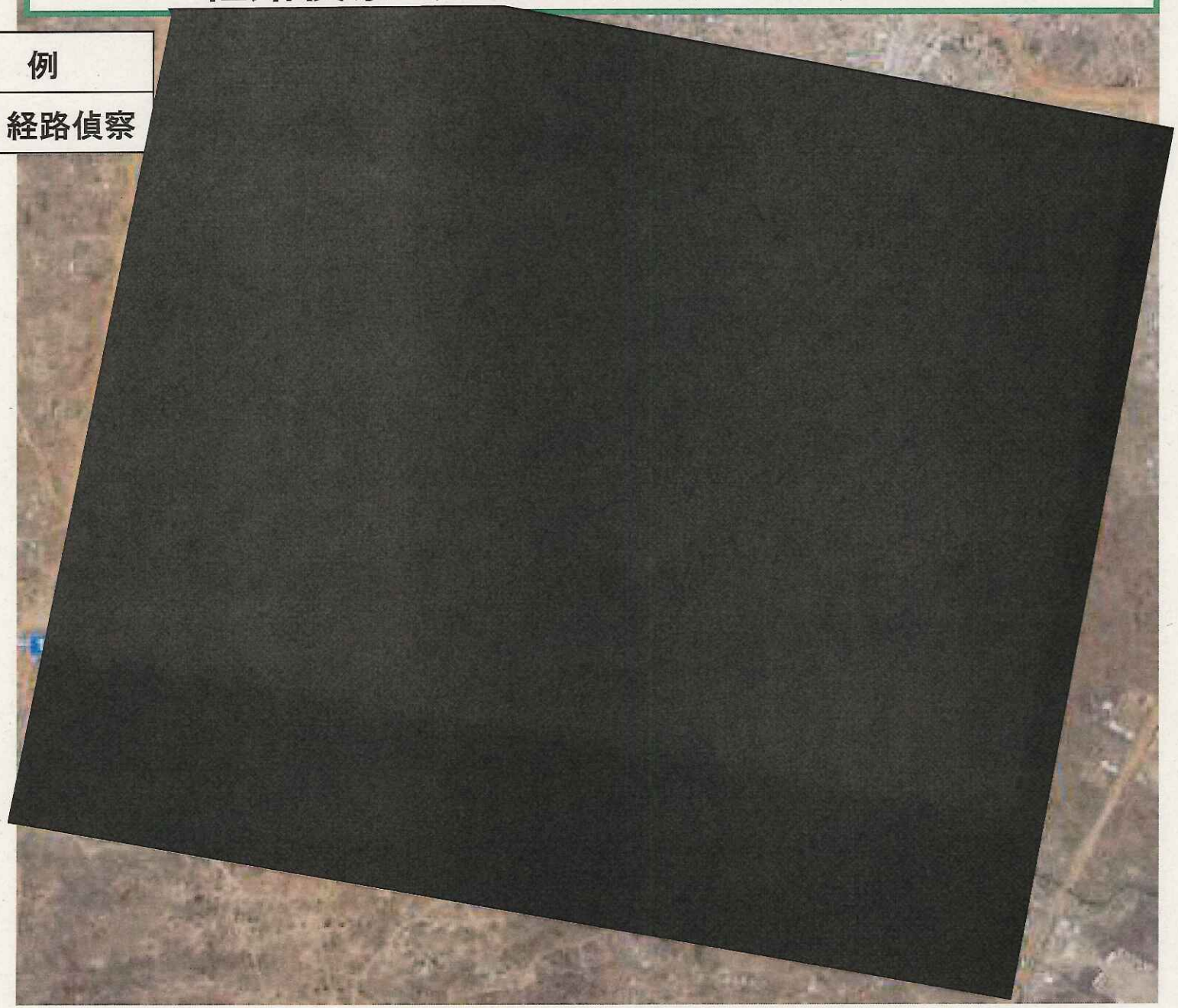
1	マラム運搬
2	経路偵察
3	情報収集
4	現地調達（厚生）
5	重車両輸送支援
6	業務調整（広報）
7	業務調整（施設）
	予備経路



別紙第８－９

経路偵察（ＵＮハウス）（７／８）

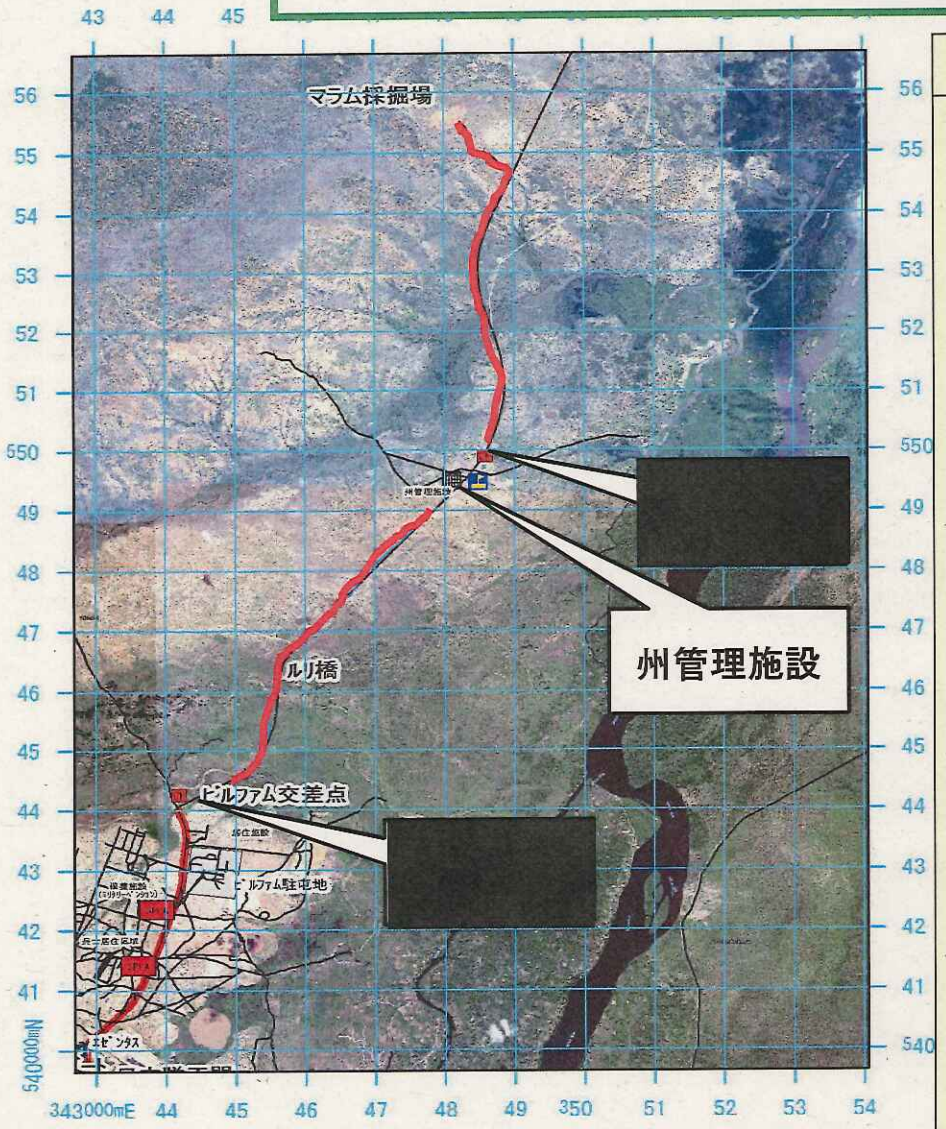
凡　例	
――	経路偵察



別紙第８－１０

マラム運搬（８／８）

1:80,000



項目	内　容
実施の概要	○出発調整 ・０８３０ [redacted] ○出発準備 ・０９４５ ○出　発 ・１０００ ・１０００　ウエストゲート出発 ・１０１０　＃１ＣＰ到着 [redacted] ・１２００　マラム採取場着 ・１２２０　マラム採取場発 ・１４００　トンピン着（卸下）

１１月４日（金）運搬編成

[redacted]

別紙第９

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
[redacted]	○　日本大使館 [redacted]	○　目　的 施設隊・日本大使館連絡調整会議 ○　対　応 Ｓ－３ ○　場　所 応接室
	○　韓国国防省厚生担当者来隊 [redacted]	○　目　的 宿営地内の研修 ○　対　応 Ｓ－１、Ｓ－４ ○　場　所 応接室及び宿営地内

隊長、副隊長の行動予定

別紙第１０－１

	AM	PM	課業外
隊　長	[redacted]		
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第１０－２

	AM	PM	課業外
最先任上級曹長	[redacted]		

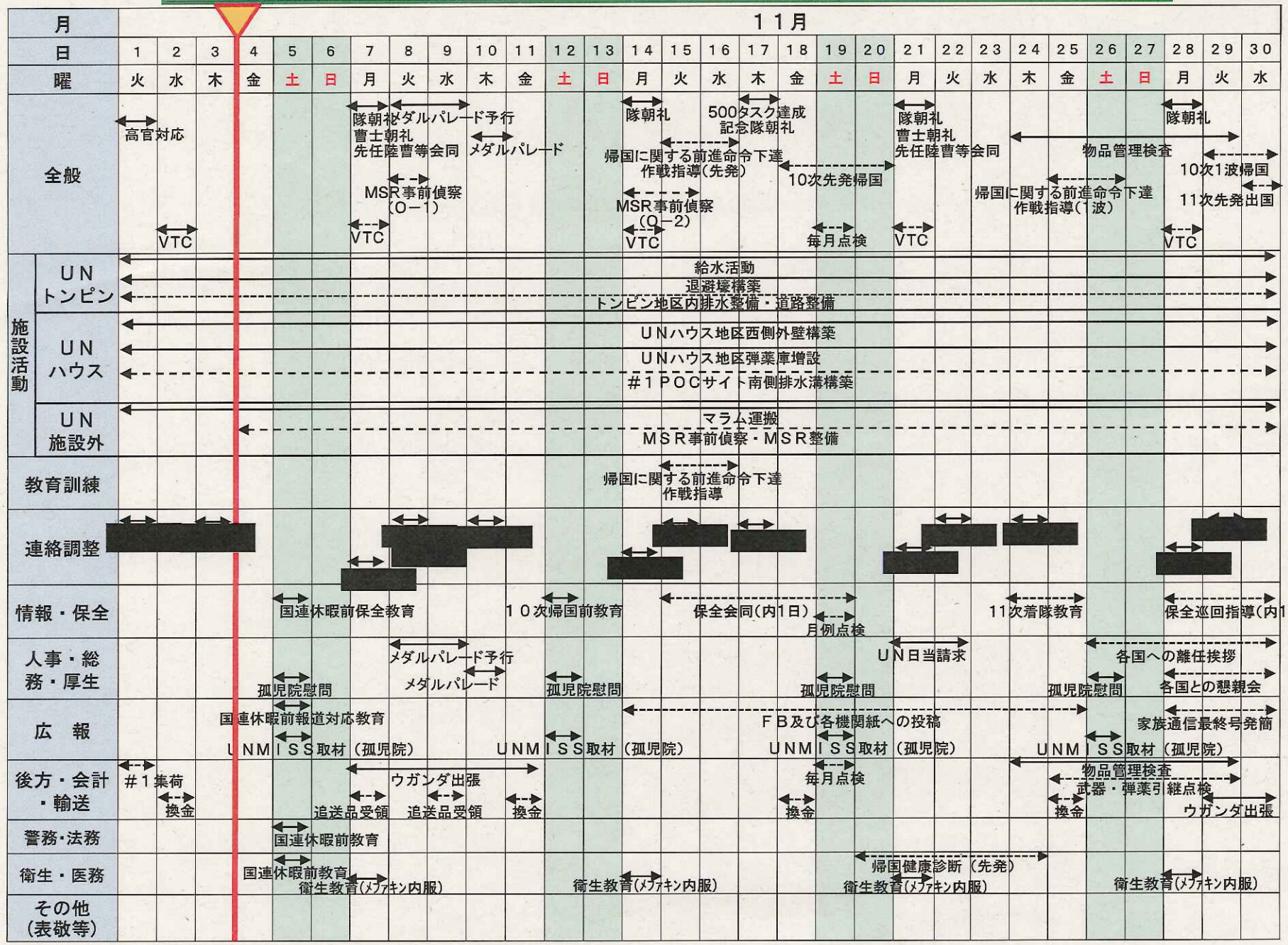
３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

赤字：変化事項

１１月　月間業務予定

別紙第１１－１



青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１０／３０～１１／５）第４７週

別紙第１１－２

日	１０／３０	１０／３１	１１／１	１１／２	１１／３	１１／４	１１／５
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１１／６～１１／１２）第４８週

別紙第１１－３

日	１１／６	１１／７	１１／８	１１／９	１１／１０	１１／１１	１１／１２
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

連携案件等情報

別紙第１２

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練 「＃４さくらＰＪ」	ＭＴＣ	実施困難	ＭＴＣ ＪＩＣＡ	・10/1　ＪＩＣＡ南スーダン事務所長交代 （ウガンダ事務所長兼任） ・１０月中に東京ＪＩＣＡ南スーダン事務所のウガンダ移転完了予定も年内の南スーダンへの復帰見込みなし ・現在のＵＮＭＩＳＳの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	ＪＩＣＡ 大日本土木	ＣＲＦにおいて実施の可否を検討中	ＣＲＦ ＪＩＣＡ	ＣＲＦにおいて外務省及びＪＩＣＡによるプロジェクト継続等に関する再検討の結果待ち	
2	国際機関等連携案件	ＵＮＯＰＳ水質調査支援 （日本補正予算によるボル河川港建設ＰＪに伴う水質調査の依頼）	ＵＮＯＰＳ （大使館）	工兵課からタスク発出済み	ＵＮＯＰＳ （※） （大使館）	当初予定されていたボル河川港建設準備のための事前水質調査については別機関により実施済み。ただし、建設中・後で引き続き水質調査が必要になることが見込まれるため、支援依頼については引き続き継続	
3		ＵＮハビタット （日本政府予算によるワウ・ジュバにおける居住環境整備事業）	ＵＮ ハビタット （大使館）	大使館から連携の可能性検討再開の打診あり	ＵＮ ハビタット （大使館）	・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得るための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・ＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄは、７月衝突事案以降中断していた施設隊との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・ＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄ側から、施設隊との連携実現のためのＵＮＭＩＳＳﾊｲﾚﾍﾞﾙ（ＤＳＲＳＧ）への打ち込みを実施予定 ・10/21に、担当者から大使館・隊担当への説明予定	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　―：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO 連携案件	なし			
	国際機関等 連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（３日～４日）ジュバ／Weather JUBA

最高気温（1400まで反映）

気温（直射）	気温（日陰）	湿　度	総雨量
４９℃	４０℃	２１％	０mm







日（曜）Date		３日（木）		４日（金）					
時　Hrs		18～21	21～24	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18
主要な活動		国連休暇（１０Ｇｐ）					UNの基盤整備		
Juba	天　気								
	気温（℃）	３１	２８	２６	２５	３１	３９	３８	３４
	体感気温（℃）	３０	２７	２６	２６	３２	４０	３８	３３
	降水確率	０％	０％	０％	０％	０％	０％	０％	０％
	雨　量	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm
	風　向	東	東南東	南東	南	南南西	南南東	東北東	北東
	風　速	２	３	２	３	２	１	３	２
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：　問題なし　＜　一部制限　＜　実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

日(曜)		5日（土）	6日（日）	7日（月）	8日（火）	9日（水）
主要な活動		UNの基盤整備 孤児院慰問		会計幹部ウガンダ出張 UNの基盤整備 市内研修 国連休暇（10Gp）		
Juba	天　気					
	気温(℃)	33／23	38／23	37／23	37／23	36／23
	降水確率	80%	50%	90%	90%	60%
	雨　量	0mm	2mm	0mm	1mm	1mm
	評　価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	33／16	30／16	29／16	30／16	31／17
	降水確率	80%	90%	90%	90%	90%
	雨　量	1mm	4mm	4mm	2mm	2mm

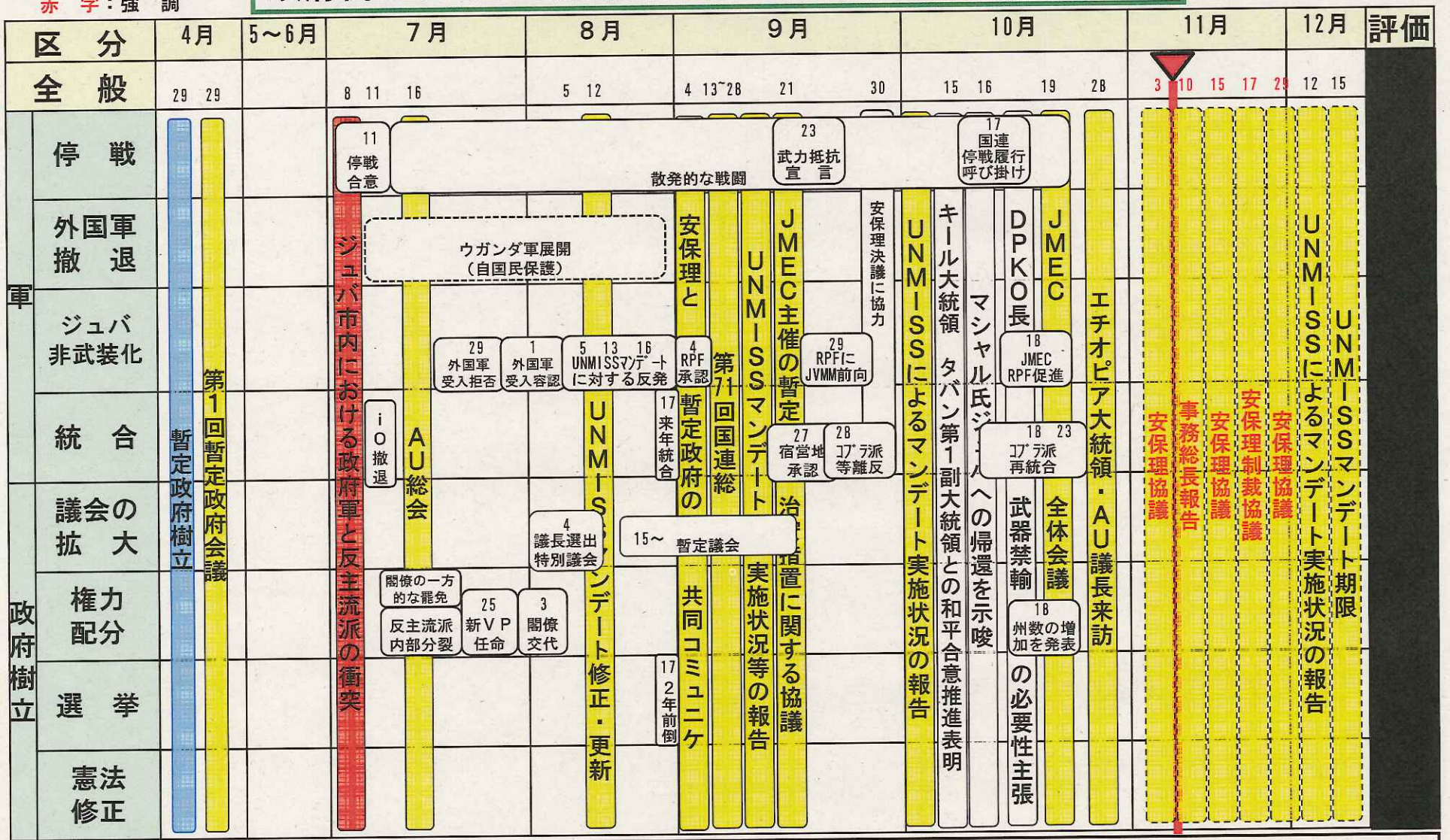
凡例　影響度：　問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	1　ジュバは5日以降降水確率が高く、不安定な天候が続く模様 2　ウガンダは週を通じて降水確率が高く、局所的な雨に注意

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement



評　価	和平合意については、キール政権及びタバン第１副大統領への非難を継続するマシャル氏とタバン第１副大統領との和平合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、反主流派（タバン派）のための野営地の承認を除き、進展は低調な状況 地域保護部隊に関して、エチオピア大統領やＡＵ議長の来訪により、キール大統領との間で具体的な議論が実施された可能性があり、今後の南スーダン政府の動向に注視が必要

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015. 8　　2016. 7　　2018

安定

和平合意

合意履行状況



暫定政府

ジュバ衝突事案

政府樹立

不安定要素

[redacted]

不安定

我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]よる負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化（我の移動制限）
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- 政府軍と地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（２０１６年１１月３日現在）



エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]本部ジュバ）

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]本部ジュバ）

中国
歩兵大隊
[redacted]
（本部：ジュバ）

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]本部ジュバ）

航空部隊
[redacted]
（本部ジュバ）

日本
施設部隊
（約350名：本部ジュバ）

バングラデシュ
施設部隊[redacted]本部：ジュバ）
河川部隊[redacted]本部：ジュバ）

カンボジア
憲兵隊：（本部：ジュバ）
医療部隊：（本部：ジュバ）

インド
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ

[redacted]＝増派部隊

＝後方支援部隊

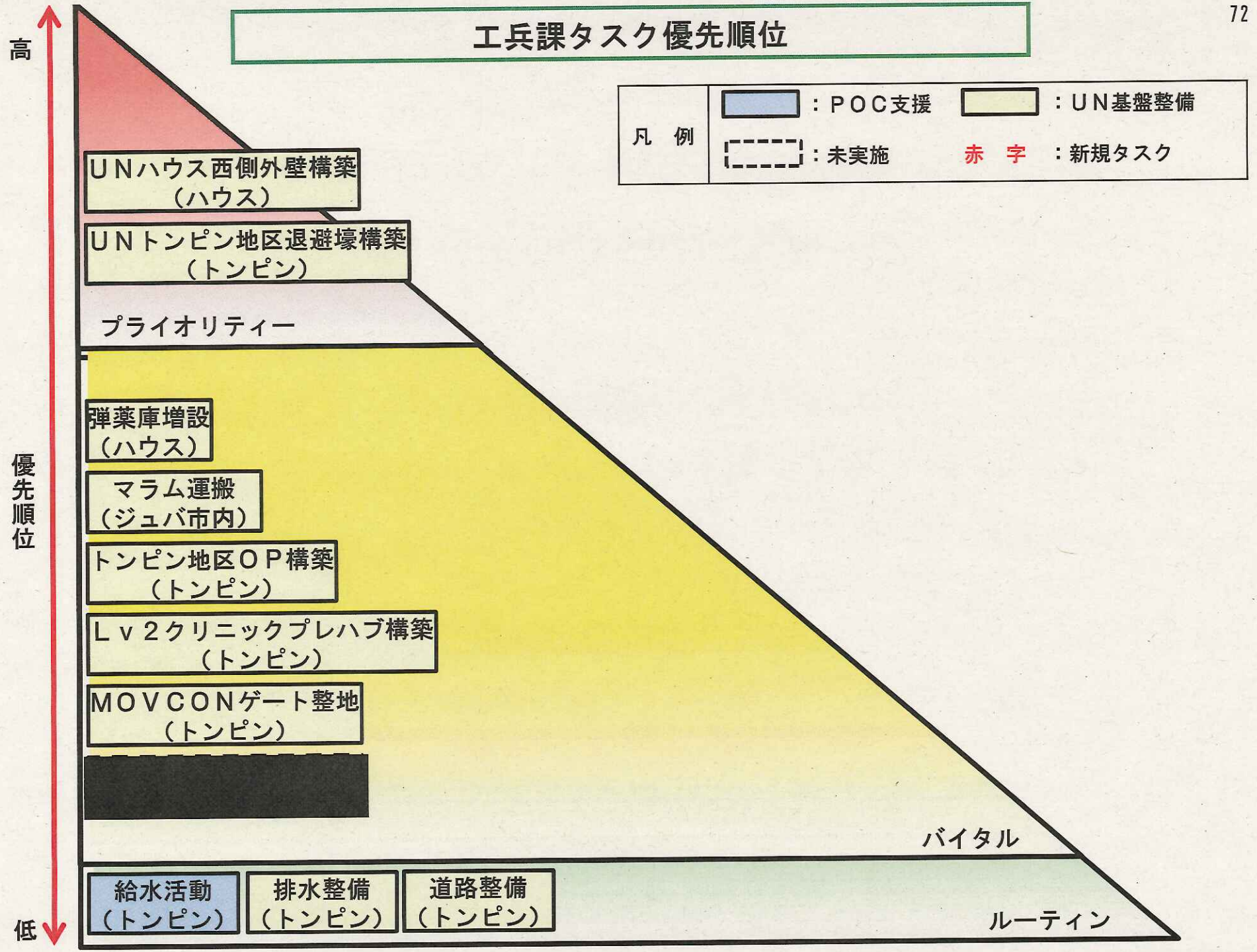
人員現況（第１０次要員）

２８．１１．３
１５００ｃ

場所	部隊		総員	内訳 幹部(O)	内訳 准曹(WS)	内訳 陸士(P)	現在員	事故	理由
ジュバ	隊本部								国連休暇２名
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班							国連休暇１名
		整備班							国連休暇２名
		補給班							国連休暇３名
		通信班							国連休暇１名
		衛生班							国連休暇１名
		営繕班							
	施設器材小隊								国連休暇４名
	第１施設小隊								国連休暇３名
	第２施設小隊								国連休暇３名
	第３施設小隊								国連休暇２名
	警備小隊								国連休暇７名
	情報班								国連休暇１名
	警護班								
	派遣警務班								
合計			353	65	252	36	323	30	

凡例　赤字：強調　青字：不在者

工兵課タスク優先順位


凡　例
：POC支援
：UN基盤整備
：未実施
赤　字　：新規タスク
高
優先順位
低
UNハウス西側外壁構築（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築（トンピン）
プライオリティー
弾薬庫増設（ハウス）
マラム運搬（ジュバ市内）
トンピン地区ＯＰ構築（トンピン）
Ｌｖ２クリニックプレハブ構築（トンピン）
ＭＯＶＣＯＮゲート整地（トンピン）
バイタル
給水活動（トンピン）
排水整備（トンピン）
道路整備（トンピン）
ルーティン

１１月３日タスク等現況（１／２）

凡　例　：ＰＯＣ支援　：インフラ整備　：ＵＮ基盤整備　：国際機関等連携案件

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	ＵＮ基盤整備	1	ＵＮハウス西側外壁構築	ＵＮハウス	ミフラム構築	実施計画				
492	ＵＮ基盤整備	2	ＵＮトンピン地区退避壕構築	ＵＮトンピン	退避壕構築	実施計画				
469	ＵＮ基盤整備	3	弾薬庫増設	ＵＮハウス	ヘスコ増設外柵構築	実施計画				
500	ＵＮ基盤整備	4	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日累計				
476	ＵＮ基盤整備	5	トンピン地区ＯＰ構築	ＵＮトンピン	ヘスコ構築屋根構築	実施計画				工兵課の指示待ち
508	ＵＮ基盤整備	6	Ｌｖ２クリニックプレハブ構築	ＵＮトンピン	プレハブ構築	実施計画				
507	ＵＮ基盤整備	7	ＭＯＶＣＯＮゲート整地	ＵＮトンピン	整　地	実施計画				
325	ＰＯＣ支援	9	給水活動	ＵＮトンピン	給　水					
471	ＵＮ基盤整備	１０	排水整備	ＵＮトンピン	排　水					
459	ＵＮ基盤整備	１１	道路整備	ＵＮトンピン	道路整備					

１１月３日タスク等現況（２／２）

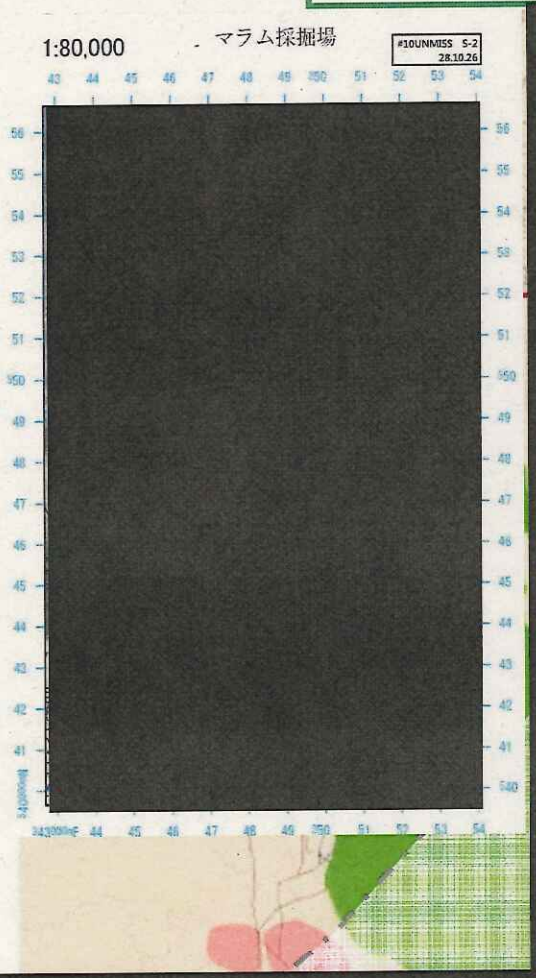
凡　例	：ＵＮ基盤整備

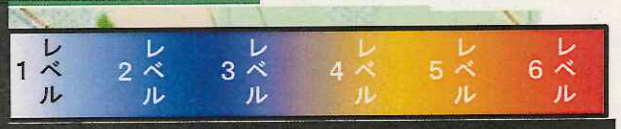
タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
456	ＵＮ基盤整備		[redacted]	ＵＮトンピン	[redacted]		[redacted]			

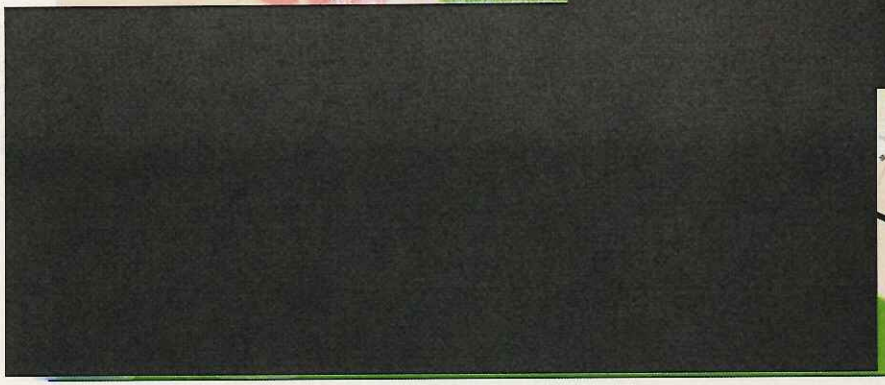
タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
５１０ （４９６）	プライオリティー	１４	
	バイタル	７０	
	ルーティン	３	
	計	８７	
		完　了	７６
		実施中	１０
		未実施	１

地域脅威レベル評価（28.11.4現在）

2016.11.3

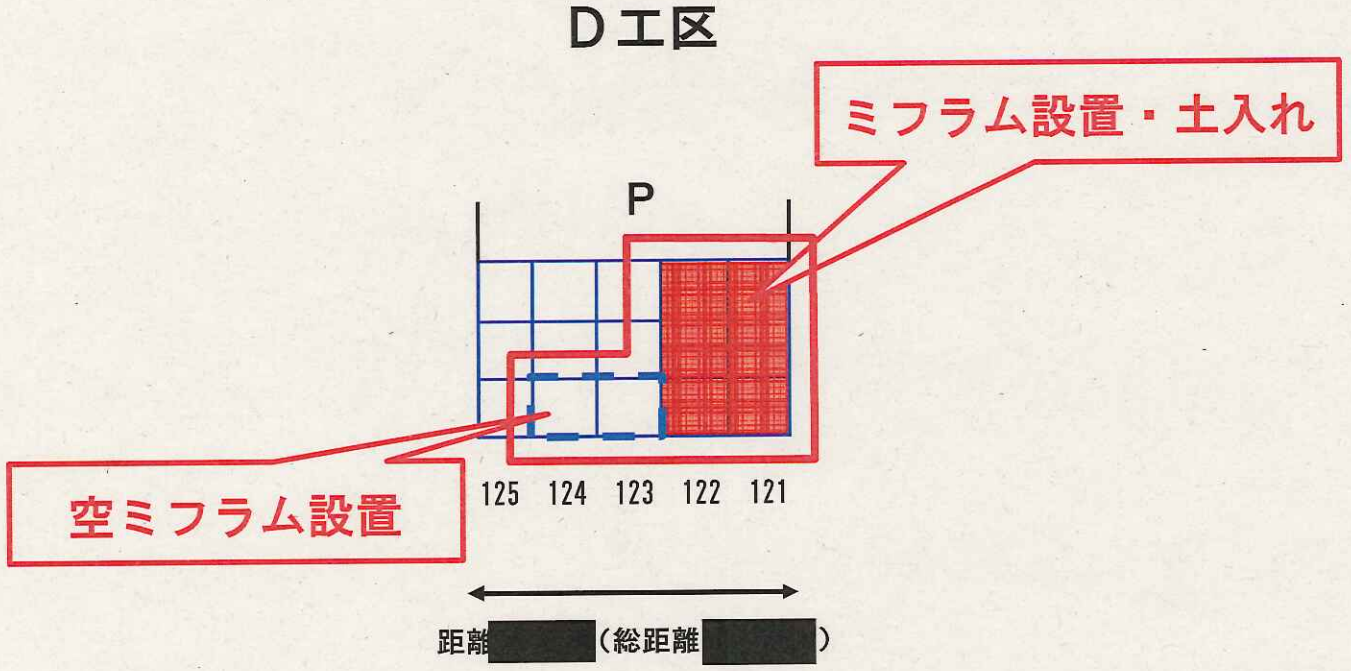








UNハウス西側外壁構築（28.11.3現在）



凡例

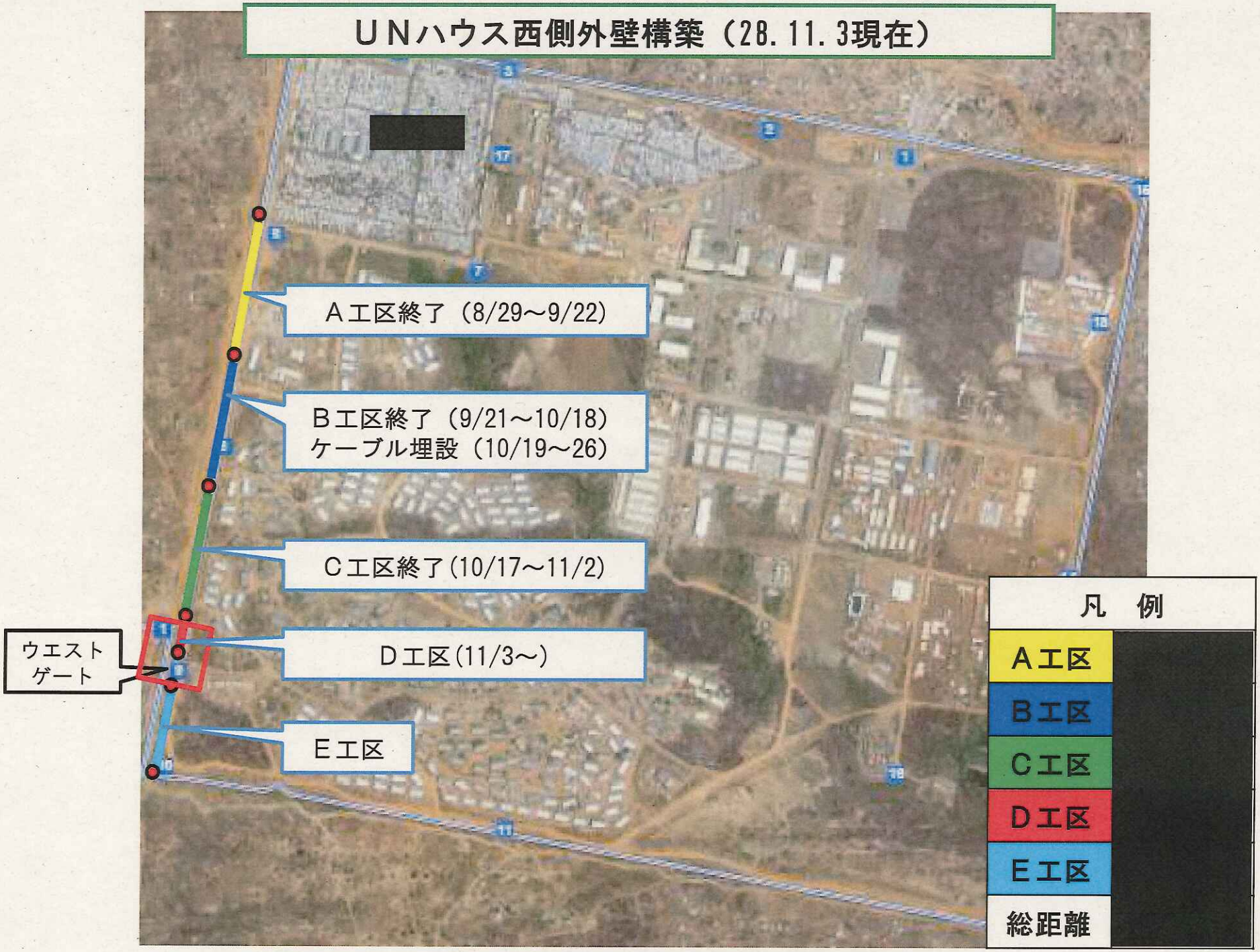
- ミフラム設置
- 空ミフラム設置箇所
- 本日作業箇所

成果

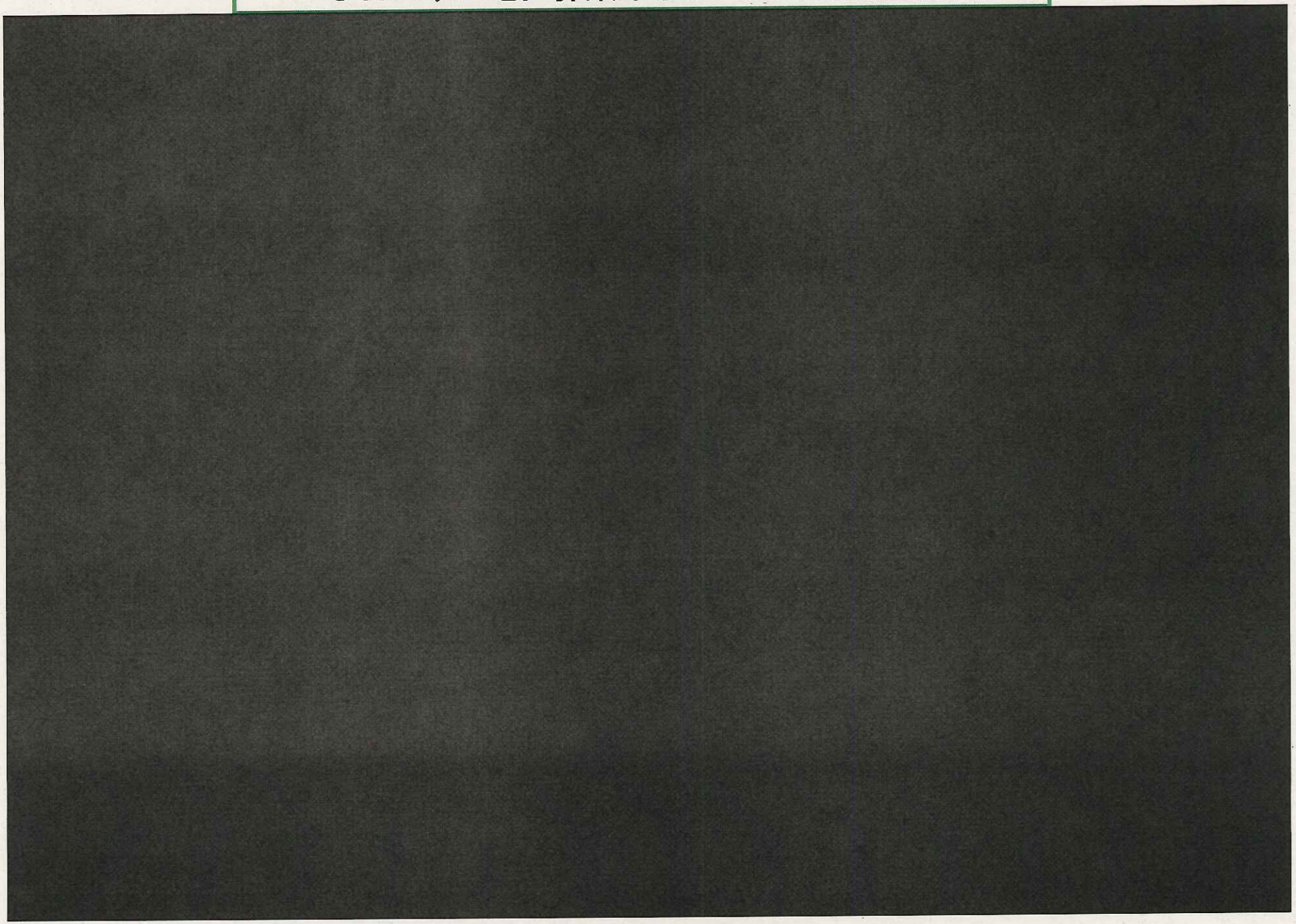
ミフラム設置 [redacted]

※　赤字：作業完了により変更部分

ＵＮハウス西側外壁構築（28.11.3現在）



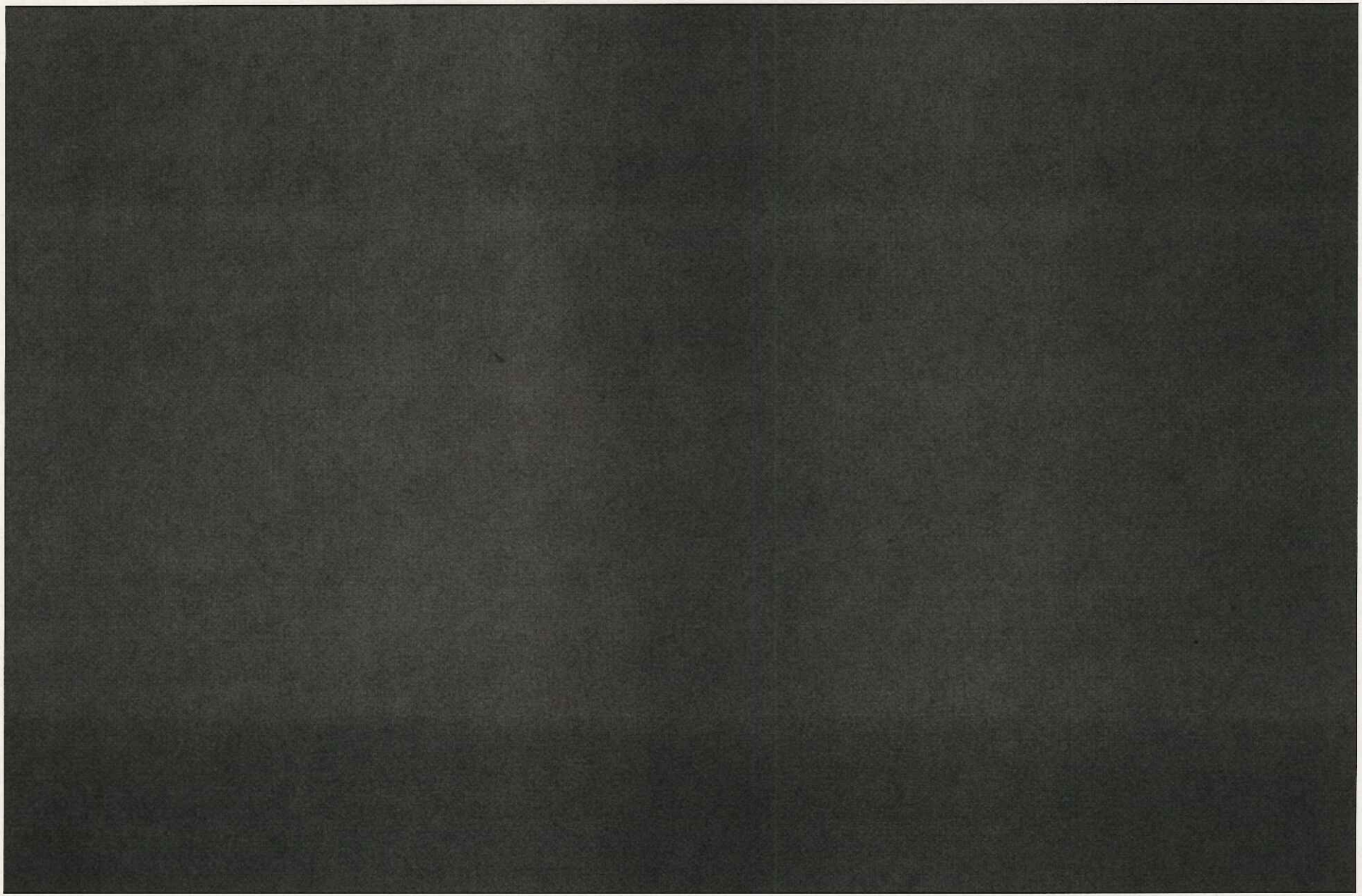
ＵＮハウス地区弾薬庫増設（28.11.3現在）



隊員服装・装備等基準

区　分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 （警備、経路偵察除く。）
[redacted]			
備考			

警備の態勢 [redacted] （１１月３日１７００現在）



活動写真

UNMISS計画（UNハウス）



UNハウスにおけるORI点検受検
(operational readiness Inspection)

UNMISS計画（UNハウス）



UNハウスにおけるORI点検受検
(operational readiness Inspection)

UNタスク（UNハウス）



UNハウス地区西側外壁構築
（第２施設小隊）

UNタスク（UNハウス）



UNハウス地区弾薬庫増設
（第３施設小隊）

活動写真

UNタスク（UNトンピン）



UNトンピン地区退避壕構築
（施設器材小隊）

UNタスク（UNトンピン）



UNトンピン地区退避壕構築
（施設器材小隊）

UNタスク（UNトンピン）



Ｌｖ．２クリニックプレハブ構築
（第１施設小隊）

UNタスク（UNトンピン）



ＭＯＶＣＯＮゲート整地
（第１施設小隊）